

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	集団資源回収事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030300 - 023	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	03 リサイクルの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市ごみ処理基本計画			
■事業の目的と概要	資源ごみの収集運搬等及びリサイクルに係る経費を減らすため、各種団体で自主的に回収することでリサイクルの推進及びごみの減量化を図る。集団資源回収事業費補助金(5円/Kg)を資源ごみ収集体体に対し交付。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	集団資源回収事業費補助金	集団資源回収事業登録団体	集団資源予定回収量:1,540t 補助金予定額:7,700千円 予定交付団体:246団体	集団資源回収量1,257t、 補助金額5,812,200円、 交付団体242団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	8,279	7,168	6,155	5,812	
人件費	3,698	2,840	384	372	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,977	10,008	6,539	6,184	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	集団資源回収量	1,655t	1,413t	1,340t	1,257t	
02	団体数	255	248	246	242	集団資源回収事業実施団体数。団体数は減少傾向である。
03	リサイクル率	0.227	0.214	0.203	0.194	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☐ B. 概ね順調
- ☒ C. 遅れている

達成状況の分析

児童の人口が減少していることもあり、子供会関係の実施団体数が減少している。資源ごみ回収店舗の利用定着も回収量減少の一因と考える。

問題点・課題等

実施団体数、集団資源回収量が減少傾向にあること。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

綿100%や毛布に限らず、衣類全般を資源回収品目とし、収集量増加を図り、資源化を推進する。

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☐ V. 完了